

幼小中一貫校の開校に向けて シリーズ⑤



幼小中一貫校の新校名「福部未来学園」に！

「教育環境部会」が、鳥取市教育委員会と協力しながら進めてきた福部地域幼小中一貫校の「新校名」について、7月3日（金）に、深澤義彦鳥取市長が「福部未来学園」を選定したと発表されました。この後、鳥取市議会において、この校名が承認されれば、正式決定となります。

この「新校名」は、5月1日（金）から6月1日（月）の1か月にわたって公募されました。応募のあった校名の中から、推進委員会で選考を行い、「福部学園」「福部砂丘学園」「福部未来学園」の3候補に絞り込みました。その候補の中から、「福部未来学園」が選定されたのです。

応募総数は296件。その内訳は、福部町49件、市内（福部町を除く）23件、県内（鳥取市を除く）3件、県外43件、

福部小中学校178件となっています。県外からも40件を超える応募があり、福部地域の幼小中一貫校に対する関心度がうかがえます。

「福部未来学園」には、

- 子どもたちが未来へ向かって豊かに育ち、はばたいてほしい。
- 福部町を担う子どもの未来を育む学校であってほしい。
- ふるさとの未来を拓き、創造する「福部の宝」を育てる学校であってほしい。
- 未来の夢を語るができる学校を地域住民で守っていききたい。

といった「思い」や「願い」が込められています。

鳥取市議会で新校名が議決され次第、「校歌」「校章」の制定に向け、さらに取り組みを進めていきます。今後ますます、福部地域の「幼小中一貫校」を話題に取り上げ、福部の「未来」について語り合っていきたいものです。